

## 平成27年度施策評価調査書

整理番号	16
評価担当課	総務部企画課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	高速交通体系の確立		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	13	総合交通体系

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	北海道縦貫自動車道の早期建設、宗谷本線の高速化や利便性の向上など、多様性のある高速交通ネットワークの形成に取り組むことを目的に、市民の利便性を高めるべく、利用しやすい交通拠点の整備や公共交通機関の整備を図ります。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	上記の目的を達成するため、道路については、高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会や北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会、一般国道40号名寄・稚内間整備促進期成会、宗谷本線については、宗谷本線活性化推進協議会を活用しながら、国や関係機関に対する要請活動を行ってきている。
施策の課題	士別市多寄町から名寄市間12kmについては当面着工しない区間としてされておりましたが、平成26年5月の北海道開発局事業審議委員会において事業継続が妥当と判断され、同年8月に事業の再開が決定されました。今後は士別剣淵～名寄市間の整備促進、早期完成が課題です。宗谷本線については石勝線の事故後、安全安心な運行に方針が変更されたため、高速化や利便性の向上は安全運行が確立されてからと方針が変更されています。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
各種道路関係期成会要望活動	夏季・秋季中央要望回数	目標値	2	2	1	
		実績値	2	2	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
宗谷本線要望活動	JR北海道に対する要望回数	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	高規格幹線道路については、これまでの要望活動が実り、早期完成に向け、現段階では順調に推移すると考えているが、宗谷本線の完全高速化には路盤の変更や安全な運行に課題があり、継続して、本期成会の要望実現に向け、要望活動が必要。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も国や関係機関に対し要望活動を実施し、各構成市町村との連携を図りながら役割分担し取り組みを継続する。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

要望活動を含め、地道な活動は評価でき、継続して活動すべきであり、順調に推移していると判断できる。

8 2次評価の意見等

外部評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	各種期成会負担金	高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会負担金	89,000								
		北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会	99,000								
		一般国道40号名寄稚内間整備促進期成会	122,000								
2	宗谷本線活性化推進協議会負担金	宗谷本線活性推進協議会	0								

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	16	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	総務部企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	北海道縦貫自動車道の建設促進(各種期成会)			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	13	総合交通
		基本事業	1	高速交通体系の確立
		実施計画事業	1	北海道縦貫自動車道の建設促進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	高速交通ネットワークの形成のため				
対象(何を又は誰を)	圏域住民				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	国や関係機関に対し、各種期成会を通じて要請活動を実施する。				
意図(どのような成果を期待しているか)	北海道縦貫自動車道の建設促進。				
事業実施主体	国				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他( )
事業実施期間	始期	S41年度	終期設定	有(終期年度)	無
根拠法令・条例等	国土開発幹線自動車道建設法、高速自動車国道法				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 各種期成会要望活動	回	目標	2	2	1	1	6
			実績	2	2	1	-	-
	2 期成会負担金 (高速旭川名寄、北海道開発幹線、一般国道40号)	千円	目標	310	310	310	310	1,240
			実績	310	310	310	-	930
成果指標	1 要望活動実施件数	回	目標	2	2	1	1	6
			実績	2	2	1	-	-
	2 期成会負担金実績		目標	310	310	310	310	1,240
			実績	310	310	310		930

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	310	310	310	310	高速自動車国道旭川名寄間建設促進期成会負担金 89千円 北海道開発幹線自動車道北建設促進期成会負担金 99千円
人件費	3,342	3,315	3,315	3,315	一般国道40号名寄稚内間整備促進期成会負担金 122千円
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	
総事業費	3,652	3,625	3,625	3,625	
対前年比(%)	-	99	100	100	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市民のみならず圏域住民から高速交通ネットワークの形成はニーズが高く、地域の活性化、地域振興には必要なものとする。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	国の動向次第で変わるため、継続的に国や関係機関に対する要望活動の実施が必要とする。負担金については圏域として活動するための負担分として相応なものとする。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	市単独事業ではなく、期成会として圏域の市町村で負担しているため、経費負担はある程度必要なものとする。コストについても継続性が求められる事業であるが、事業費の圧縮にも努めているところ。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	a	対象は圏域住民であり、皆が享受できるものとする。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	これまでの要望活動が実り、高規格幹線道路土別剣淵～名寄間の事業再開決定がなされた。期成会活動も活動事業の進捗率が高く、達成度合いは高い。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	平成26年8月に土別剣淵～名寄間の整備が事業再開の決定を受けました。今後、早期完成に向け期成会としても継続して要望活動を実施する必要があります。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	16	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	宗谷本線活性化(各種期成会)			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	無	主要施策	13	総合交通体系
		基本事業	1	高速交通体系の確立
		実施計画事業	2	宗谷本線の完全高速化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	平成12年から宗谷本線に特別急行列車が運行されましたが、名寄・稚内間は高速化されていない			
対象(何を又は誰を)	上川北部以北の首長・議長・商工会で構成する協議会			
手段=活動(仕事)	上記目的を達成するために、JR北海道など関係機関に対し陳情・要望活動を実施している。			
意図(どのような成果を期待しているか)	宗谷本線の完全高速化及び特急列車の快適性の向上。安全・安心の確保と事故等の再発防止。			
事業実施主体	宗谷本線活性化推進協議会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	平成12年度	終期設定	有(終期年度) 無
根拠法令・条例等	宗谷本線活性化推進協議会規約			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
活動指標	1 JR北海道など関係機関への陳情・要望活動 JR北海道宗谷北線運輸営業所に対する要望		目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	2		
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 JR北海道など関係機関への陳情・要望活動 JR北海道宗谷北線運輸営業所に対する要望		目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	2		
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	現在、負担金なしで活動している。 (過去の負担金の切り崩し)
国道支出金					
地方債					
その他 一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成17年度総会より、書面総会の開催及び負担金の徴収なしで、当面の間活動を行うこととした。
改善点	指摘事項 有 ( ) -

#### 4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	宗谷本線の完全高速化及び利便性の向上は、地域の活性化にもつながると考える。また、和寒町以北の自治体(首長・議長)及び商工会で組織をして活動しており、負担金の徴収もないことから協議会の加入は必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	多くの構成団体による陳情・要望活動を実施し、JR北海道及び北海道などへ地域の声を伝えることは有効な手段と考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	現在、負担金を徴収していないため、人件費以外の予算を伴わない活動である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	構成団体である宗谷本線沿線の活性化に繋がる取り組みであり、負担金徴収がないため問題ない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	毎年、活動計画通り陳情・要望会を実施しており、昨年はJRの事故が相次ぎ特急列車の運休もあったことから臨時の陳情を実施した。達成度は100%。

#### 5 1次評価

評価結果	理由	
A	宗谷線の完全高速化及び利便性向上は、地域の活性化に繋がると考えられる。 上川北部以北の首長・議長・商工会で組織されている協議会で、自治体連携して 改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

#### 6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり